

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらい教室 南武庫之荘教室		
○保護者評価実施期間	2025年11月1日		2025年11月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1 (回答者数)	1
○従業者評価実施期間	2025年11月1日		2025年11月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられているか	利用者本人や保護者のニーズや課題を丁寧に把握したうえで、職員全員で情報を共有し、子ども一人ひとりに最適な個別支援計画を作成しています。また、計画に沿った支援が日々の活動の中で確実に実施されるよう、職員間で打ち合わせや振り返りを行い、継続的な改善に努めています。	個別支援計画の定期的なモニタリングを行い、子どもの学習進捗や生活状況を記録・分析して計画に反映させます。また、保護者や関係機関との情報共有・連携をさらに強化し、必要に応じた助言や支援を迅速に提供できる体制を整えることで、子ども一人ひとりに最適な支援環境の充実を図ってまいります。
2	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができているか	送迎時や連絡帳を活用して日々の様子を伝え、子どもや保護者の意向を確認し、その内容を個別支援計画に反映しています。また、情報を職員間で共有することで、保護者が安心して子どもを預けられる環境づくりが行われています。さらに、必要に応じて助言や支援を行い、家庭と教室が一体となったサポート体制の維持にも努めています。	送迎時や連絡帳での情報伝達に加え、保護者の意向や子どもの状況をより詳細に把握します。把握した情報を個別支援計画や日々の支援に反映するとともに、職員間での共有や振り返りを強化し、家庭と教室が連携したより充実したサポート体制の構築を目指してまいります。
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	利用者の状況や特性に応じて個別の部屋やスペースを用意し、パーテーション、飛び出し防止など安全面にも配慮しています。さらに、活動スペースの配置や使い方も工夫し、落ち着いて学べる場と自由に身体を動かせる場の両方を整えています。	個別の部屋や活動スペースの配置に加え、子ども一人ひとりの興味や活動内容に応じた環境の柔軟な調整を行います。また、導線の工夫をさらに進め、子どもが自ら選択しやすく、安心して活動できる環境づくりを一層充実を図ってまいります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか	当事業所では学習支援を中心とした個別支援型のサービスを提供しているため、外部施設との交流活動を組み込むことが難しく、地域のこどもとの交流機会が十分に確保できていません。	学習支援を中心とした個別支援型のサービスを提供しているため、地域のこどもとの交流機会は十分に確保できていません。今後は、保護者の方からのご要望があれば、短時間・小規模で参加できる交流活動の実施について検討し、安心して参加できる環境づくりに努めてまいります。
2	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか	保護者のニーズが多様であることから、家族支援プログラムや研修会の機会を十分に提供できていない状況です。しかし、日常的に保護者の方からの相談には適宜対応しており、個別の状況や希望に応じた助言や情報提供を行うことで、保護者の方が安心して利用できる環境づくりに努めています。	今後は、保護者のニーズに応じて家族支援プログラムや研修会の開催について検討するとともに、相談や情報提供の内容を整理・記録し、より多くの保護者が相談しやすい工夫を行ってまいります。
3	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか	職員の情報発信業務が他の業務と比べて優先度が低くなりやすいことや、定期的な更新の仕組みが整っていないことから、保護者に対する活動情報や業務評価の発信が十分に行われていません。	今後は、情報発信の優先度を明確化し、定期的に通信やホームページ・SNS等で更新できる仕組みを整えるとともに、職員間で役割分担を行い、保護者に対して活動情報や業務評価を発信できるよう工夫してまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	みらい教室 南武庫之荘教室
------	---------------

公表日 2026年 1月 28日

利用児童数 1名

回収数 1

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	1					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1					
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。				1		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。				1		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	1					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				1		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。				1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	1					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	1					
	29	事業所の支援に満足していますか。	1					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		みらい教室 南武庫之荘教室		公表日		2026年 1月 28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		利用者の状況を考慮し、適切なスペースを確保している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	利用者の様子や状況に応じて職員との相性を考えて配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	ガラス部屋のスモーク、大部屋内のパーティション、飛び出し防止等の配慮を行っている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日の清掃、消毒を通じて、利用者が心地よく過ごせる環境を整えている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		各利用者の様子や特性に応じて、個別部屋や場所を用意している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		取り組みを行えるよう職員内で情報を共有し、業務改善に努めている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員内で情報を共有し、改善につなげている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		意見を把握する機会、環境を整えており、その内容を共有し、改善に繋げている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		第三者による外部評価を行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		資質の向上につながるさまざまな研修を受けている。		
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		職員内での情報共有の下、作成し公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		利用者本人や保護者のニーズや課題を送迎時に把握し、計画書を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		全職員で情報を共有し、共通理解の下、検討し作成している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		職員内で共有する機会を設け、計画に沿った支援を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		検査結果や日々の関わりを通じて利用者の適応行動の状況を確認している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		支援会議を定期的に行い、そこでの情報共有を基に利用者それぞれのニーズや課題、長所を明確にし、支援計画や内容を設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		利用者の状態を共有し、無理のない内容になるように確認している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		それぞれの学習進行状況に合わせて指導内容や学習教材の見直し、工夫を行っている。		

提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	学習支援メインのため、個別活動が主になるが、学習後の遊びや指導員との交流により集団での活動やコミュニケーションを図っている。	マンツーマン支援を中心に行っているため、集団活動を行っていない利用者もいる。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		打ち合わせの機会を設け、チーム全体で支援している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		1日の支援終了後、打ち合わせの機会を設け、情報の共有、振り返りを行っている。指導報告を行い、利用者の気になる点や学習中の様子を適宜共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		報告書を通じて記録に残し、情報の共有、改善に役立てている。個々のファイルに支援で用いたプリント屋様子をまとめ、毎回見直ししながら次の支援に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的にモニタリングの機会を設け、見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		4つの基本活動の内容を確認し、複数の組み合わせを設定して支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		自己選択できるようにさまざまな教材や提案を事前に準備して支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	3	会議後には内容を職員間で共有し、支援に反映できるよう振り返りの機会を設けている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	3		関係機関ごとに情報共有の方法や頻度が異なり、連携が十分に図れない場合がある。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		状況に応じて保護者を通じて行っている。子ども本人からの情報が主になり、学校での様子や学習進捗、行事予定などの詳細があまりにないこともある。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	状況に応じて保護者を通じて行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	状況に応じて保護者を通じて行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3		職員によって対応に差が出ることがある。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		サービス提供形態的に難しいため、教室内の利用者同士以外では交流の機会はない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		今後、参加体制の工夫や日程調整を行い、関係機関との連携を強化することが課題である。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時や連絡帳を活用し、日々の様子や小さな変化を丁寧に伝えるよう努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		状況に応じて行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		利用前の面談にて説明をしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		送迎時や電話を通じて確認を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		面談の際に、保護者の意見や希望をしっかりと聞き取り、計画に反映できるよう努めている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		保護者の話を丁寧に聞いたうえで、具体的に実践しやすい助言を提供するよう工夫している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		現在、父母の会や保護者会の開催など、保護者同士が交流できる機会を十分に設けられていない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		すぐに情報を共有、対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	1	4		現在、定期的な通信の発行やHP・SNS等での情報発信が十分に行えていない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		書類やデータの管理方法を明確にし、職員間で統一したルールを徹底している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		書面や報告書、口頭など複数の手段を活用し、情報伝達が確実になるよう工夫している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		サービス提供形態的に難しいため、地域に開かれた取り組みは十分に行えていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		訓練後には振り返りを行い、改善点をマニュアルに反映することで、より実践的で有効な内容にしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	BCPの内容を職員全員に周知し、役割や手順を明確化することで、災害発生時の迅速な対応を可能にしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		事前に保護者から必要な情報を丁寧に確認し、健康状態や服薬状況を記録して共有している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	3		現在、事業所での食事提供は行っていないため、食物アレルギー対応としての実務は発生していない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画を職員全員で共有し、役割や手順を明確化することで、日常の支援や緊急時にも迅速に対応できるよう工夫している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		利用前の説明で、安全計画の内容や支援時の配慮事項を保護者に具体的に示し、理解しやすいよう工夫している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		年間研修計画に組み込んでいる。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		年間研修計画に組み込んでいる。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		利用前に保護者へ十分に説明し、疑問や不安に対応した上で同意を得ることで、信頼関係を築いている。		